

不動産所得が赤字で、給与所得がある方の記載例

給与所得について年末調整を受けた方で、他に赤字の不動産所得がある場合

【第一表】

手順1
5ページ
参照

種類欄の該当する項目の文字を○で囲みます。(5ページ参照)

手順2
6ページ
参照

手順3
11ページ
参照

マイナンバー(個人番号)を記入する必要があります。

明治・・・「1」
大正・・・「2」
昭和・・・「3」
平成・・・「4」

手順4
19ページ
参照

○黒字の場合…
100円未満の端数を切り捨てた金額(黒字の金額が100円未満の場合は「0」)を記入します。

○赤字の場合…
金額の頭に「△」又は「-」をつけてそのままの金額を記入します。

手順5
23ページ
参照

該当する事項がある方のみ記入します。

手順5
23ページ
参照

還付される税金がある方のみ記入します。

00 税務署長 平成 29 年分の 所得税及び復興特別所得税の確定申告書B FA0123

住所 00市△△町X-XX-X 個人番号 XXXXXXXXXX 氏名 国税 太郎

職業 会社員 生年 49.11.16

収入金額等	所得金額	所得から差し引かれる金額	税	その他
事業等 7	事業等 1	雑損控除 10	課税される所得金額 26	配偶者の合計所得金額 49
不動産 8	不動産 2	医療費控除 11	所得税及び復興特別所得税の合計額 27	専従者給与(控除)の合計額 50
配当 9	配当 3	社会保険料控除 12	上の②に対する税額又は第三表の⑤ 28	青色申告特別控除額 51
給付 10	給付 4	小規模企業共済等掛金控除 13	配当控除 29	所得控除の特典 52
公的年金等 11	公的年金等 5	生命保険料控除 14	住宅ローン等特別控除 30	本邦からの所得及び復興特別所得税の源泉徴収税額 53
その他 12	その他 6	地震保険料控除 15	政党等寄附金等特別控除 31	本年分で差し引く繰越損失額 54
短期 13	短期 7	寄附金控除 16	復興特別所得税額 41	平均課税対象金額 55
長期 14	長期 8	寡婦・寡夫控除 17	所得税及び復興特別所得税の額 42	変動・臨時所得金額 56
一時 15	一時 9	勤労学生・障害者控除 18	所得税及び復興特別所得税の額(④+⑤) 43	延届納の出 57
総合課税・一時 16	総合課税・一時 10	配偶者(特別)控除 19	外国税額控除 44	延納届出額 58
合計 17	合計 11	扶養控除 20	再差引所得税額(基礎所得税額) 45	還付される税金 46
雑損控除 18	雑損控除 12	基礎控除 21	復興特別所得税額(④×2.1%) 46	納める税金 47
医療費控除 19	医療費控除 13	合計 22	所得税及び復興特別所得税の額(④+⑥) 47	還付される税金 48
社会保険料控除 20	社会保険料控除 14	合計 23	所得税及び復興特別所得税の額(④+⑥) 48	配属者の合計所得金額 49
小規模企業共済等掛金控除 21	小規模企業共済等掛金控除 15	合計 24	所得税及び復興特別所得税の額(④+⑥) 49	専従者給与(控除)の合計額 50
生命保険料控除 22	生命保険料控除 16	合計 25	所得税及び復興特別所得税の額(④+⑥) 50	青色申告特別控除額 51
地震保険料控除 23	地震保険料控除 17	合計 26	所得税及び復興特別所得税の額(④+⑥) 51	所得控除の特典 52
寄附金控除 24	寄附金控除 18	合計 27	所得税及び復興特別所得税の額(④+⑥) 52	本邦からの所得及び復興特別所得税の源泉徴収税額 53
寡婦・寡夫控除 25	寡婦・寡夫控除 19	合計 28	所得税及び復興特別所得税の額(④+⑥) 53	本年分で差し引く繰越損失額 54
勤労学生・障害者控除 26	勤労学生・障害者控除 20	合計 29	所得税及び復興特別所得税の額(④+⑥) 54	平均課税対象金額 55
配偶者(特別)控除 27	配偶者(特別)控除 21	合計 30	所得税及び復興特別所得税の額(④+⑥) 55	変動・臨時所得金額 56
扶養控除 28	扶養控除 22	合計 31	所得税及び復興特別所得税の額(④+⑥) 56	延届納の出 57
基礎控除 29	基礎控除 23	合計 32	所得税及び復興特別所得税の額(④+⑥) 57	延納届出額 58
合計 30	合計 24	合計 33	所得税及び復興特別所得税の額(④+⑥) 58	還付される税金 46

○ 記載手順については、この記載例で示している「平成29年分 所得税及び復興特別所得税の確定申告の手引き 確定申告書B用」の該当ページを参照してください。

- ◎ 申告書は複写式になっています。申告書第一表と第二表を折りたたんだまま記入せず、広げるか、中央のミシン線で切り離してから、黒いインクのボールペンで、強く記入します。
- ◎ 2枚目は複写式の控えになっていますが、取り外して使用しても差し支えありません。申告書を提出するときは、2枚目は取り外してください。

- マス目に数字を記入する場合は、記入例①にならって、マス目の中に丁寧に記入してください。
- 1億円以上の金額がある場合は、記入例②にならって記入してください。
- 訂正する場合は、記入例③にならって、訂正する文字を二重線で抹消し、上の欄などの余白に適宜記入してください。

記入例① 縦線1本 すきまをあける 上に突き抜ける 角をつくる 閉じる

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

記入例② 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

記入例③ 800000
~~700000~~

【第二表】

※ 記載例中における社会保険料の金額は、実際金額とは異なります。

平成 29 年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書B

整理番号 FA0077

手順1
5ページ
参照

住所 〇〇市△△町X-X-X
 氏名 コノベイ タロウ
 国税 太郎

手順2
6ページ
参照

所得の内訳 (所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額)

所得の種類	種目・所得の生ずる場所又は給与などの支払者の氏名・名称	収入金額	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額
給与	給料 〇〇産業株式会社	7,140,000	169,500

手順4
22ページ
参照

所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額合計 169,500

雑所得 (公的年金等以外) 総合課税の配当所得・譲渡所得・一時所得に関する事項

所得の種類	種目・所得の生ずる場所	収入金額	必要経費等	差引金額

手順6
24ページ
参照

住民税・事業税に関する事項

扶養親族の氏名	個人番号	生年月日	別居の場合の住所	寄附金税額控除
国税二郎	XXXXXXXXXXXXXX	21.6.1		

所得から差し引かれる金額に関する事項

⑩ 雑所得控除

⑪ 医療費控除

⑫ 社会保険料控除

⑬ 社会保険料控除

⑭ 社会保険料控除

⑮ 社会保険料控除

⑯ 社会保険料控除

⑰ 社会保険料控除

⑱ 社会保険料控除

⑲ 社会保険料控除

⑳ 社会保険料控除

㉑ 社会保険料控除

㉒ 社会保険料控除

㉓ 社会保険料控除

㉔ 社会保険料控除

㉕ 社会保険料控除

㉖ 社会保険料控除

㉗ 社会保険料控除

㉘ 社会保険料控除

㉙ 社会保険料控除

㉚ 社会保険料控除

㉛ 社会保険料控除

㉜ 社会保険料控除

㉝ 社会保険料控除

㉞ 社会保険料控除

㉟ 社会保険料控除

㊱ 社会保険料控除

㊲ 社会保険料控除

㊳ 社会保険料控除

㊴ 社会保険料控除

㊵ 社会保険料控除

㊶ 社会保険料控除

㊷ 社会保険料控除

㊸ 社会保険料控除

㊹ 社会保険料控除

㊺ 社会保険料控除

㊻ 社会保険料控除

㊼ 社会保険料控除

㊽ 社会保険料控除

㊾ 社会保険料控除

㊿ 社会保険料控除

第二表 平成29年分以降用(離職は離職した日に提出していただき、(源泉徴収票) 国民年金保険料や生命保険料の控除は源泉徴収票に記載していただく必要があります。)

手順3
11ページ
参照

控除対象配偶者や扶養親族、事業専従者などのマイナンバー (個人番号) も記入する必要があります。

- 【ご注意】
- ◎ 給与所得者や公的年金等の雑所得のある方は、支払者から受領した「給与所得の源泉徴収票 (原本)」や「公的年金等の源泉徴収票 (原本)」を添付書類台紙に貼って提出しなければなりません。
 - ◎ 事業所得、不動産所得又は山林所得を生ずべき業務を行っている方は、総収入金額及び必要経費の内訳を記載した「青色申告決算書」や「収支内訳書」を申告書と一緒に提出しなければなりません。

(参考) 給与所得の源泉徴収票

平成29年分 給与所得の源泉徴収票

支払 を受ける 者	住所又は居所 〇〇市△△町×-××-×	(受給者番号)																																										
		(役職名)																																										
		氏名 (フリガナ) コクゼイ タロウ																																										
		名 国税 太郎																																										
種別	支払金額			給与所得控除後の金額			所得控除の額の合計額			源泉徴収税額																																		
給与・賞与	円	千	円	円	千	円	円	千	円	円	千	円																																
	7	140	000	5	226	000	2	589	196		169	500																																
控除対象配偶者の有無等	配偶者特別控除の額		控除対象扶養親族の数 (配偶者を除く。)						16歳未満扶養親族の数	障害者の数 (本人を除く。)		非居住者である親族の数																																
	有	無	控除の額	控除の額	控除の額	控除の額	控除の額	控除の額	控除の額	控除の額	控除の額	控除の額																																
有	無		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																
社会保険料等の金額			生命保険料の控除額			地震保険料の控除額			住宅借入金等特別控除の額																																			
円	千	円	円	千	円	円	千	円	円	千	円	円																																
	1,073	196	105	000	21	000																																						
(摘要)																																												
<table border="1"> <tr> <td>生命保険料の金額の内訳</td> <td>新生命保険料の金額</td> <td>円</td> <td>25,000</td> <td>旧生命保険料の金額</td> <td>円</td> <td>35,000</td> <td>介護医療保険料の金額</td> <td>円</td> <td>90,000</td> <td>新個人年金保険料の金額</td> <td>円</td> <td></td> <td>旧個人年金保険料の金額</td> <td>円</td> <td>25,000</td> </tr> <tr> <td>住宅借入金等特別控除の額の内訳</td> <td>住宅借入金等特別控除の金額</td> <td>円</td> <td></td> <td>住宅借入金等特別控除の金額</td> <td>円</td> <td></td> <td>住宅借入金等特別控除の金額</td> <td>円</td> <td></td> <td>住宅借入金等特別控除の金額</td> <td>円</td> <td></td> <td>住宅借入金等特別控除の金額</td> <td>円</td> <td></td> </tr> </table>													生命保険料の金額の内訳	新生命保険料の金額	円	25,000	旧生命保険料の金額	円	35,000	介護医療保険料の金額	円	90,000	新個人年金保険料の金額	円		旧個人年金保険料の金額	円	25,000	住宅借入金等特別控除の額の内訳	住宅借入金等特別控除の金額	円		住宅借入金等特別控除の金額	円		住宅借入金等特別控除の金額	円		住宅借入金等特別控除の金額	円		住宅借入金等特別控除の金額	円	
生命保険料の金額の内訳	新生命保険料の金額	円	25,000	旧生命保険料の金額	円	35,000	介護医療保険料の金額	円	90,000	新個人年金保険料の金額	円		旧個人年金保険料の金額	円	25,000																													
住宅借入金等特別控除の額の内訳	住宅借入金等特別控除の金額	円		住宅借入金等特別控除の金額	円		住宅借入金等特別控除の金額	円		住宅借入金等特別控除の金額	円		住宅借入金等特別控除の金額	円																														
控除対象配偶者		(フリガナ) コクゼイ リョウコ		氏名	国税 良子	区分	配偶者の合計所得	(フリガナ) コクゼイ ジロウ		氏名	国税 二郎	区分	(備考)																															
控除対象扶養親族		(フリガナ) コクゼイ イチロウ		氏名	国税 一郎	区分	16歳未満の扶養親族	(フリガナ) コクゼイ ジロウ		氏名	国税 二郎	区分	(備考)																															
		(フリガナ)		氏名		区分		(フリガナ)		氏名		区分																																
		(フリガナ)		氏名		区分		(フリガナ)		氏名		区分																																
		(フリガナ)		氏名		区分		(フリガナ)		氏名		区分																																
未成年者	外国人	死亡退職者	災害者	本人が障害者	本人が障害者	本人が障害者	中途退職	受給者生年月日																																				
							就職	退職	年	月	日	明	大	昭	平	年	月	日																										
									29					○		49	11	16																										
支払者	住所(居所)又は所在地		〇〇区〇〇 ×-×-×																																									
	氏名又は名称		〇〇産業株式会社 (電話) ××-××××-××××																																									

【参考】収支内訳書（不動産所得用）

※ この記載例の収支内訳書は、パソコンを利用して「確定申告書等作成コーナー」で作成したものです。

F A 0 3 2 3

平成29年分収支内訳書（不動産所得用）

※あなたの本年分の不動産所得の金額の計算内容はこの記載例を参考に申告書に添付してください。

この収支内訳書は機械で読み取りますので、黒のボールペンで書いてください。

平成30年 2月16日

（自 1月 1日 至 12月 31日）

提出用
平成十五年分以降

住所	〇〇市△△町X-X-X-X	フリガナ氏名	コクセイ タロウ 国税 太郎	（国税） 依頼 税理士等	事務所所在地氏名（名称） 電話番号
職業	会社員	電話番号	XX-XXXX-XXXX		

科目	金額
収入	
賃貸料	8440000
礼金・権利金	
礼金・権利金	200000
その他	
小計	200000
計	8640000
経費	
給料賃金	
減価償却費	3277080
償倒金	
地代家賃	
借入金利息	2500000
租税公課	2450000
損害保険料	250000
その他	999992
雑費	80008
小計	3780000
専従者控除前の所得金額	-917080
専従者控除	0
所得金額	-917080
土地等取得のために要した負債の利息の額	

○不動産所得の収入の内訳

貸家賃等の別	用途	不動産の所在地	賃借人の住所・氏名	貸付期間	貸付面積	本年中の収入金額	保証金額
貸家賃	住宅用	〇〇市△△町X-X		平成29年4月31日	平方F-14	1,000,000	100,000
貸家賃	住宅用	〇〇市△△町X-X		平成28年4月30日	56.40	1,200,000	100,000
貸家賃	住宅用	〇〇市△△町X-X		平成28年4月30日	56.40	1,200,000	100,000
貸家賃	住宅用	〇〇市△△町X-X		平成28年7月30日	56.40	1,200,000	100,000
貸家賃	住宅用	〇〇市△△町X-X		平成28年3月30日	56.40	960,000	80,000
貸家賃	住宅用	〇〇市△△町X-X		平成28年3月30日	32.50	960,000	80,000
貸家賃	住宅用	〇〇市△△町X-X		平成28年4月30日	32.50	960,000	80,000
貸家賃	住宅用	〇〇市△△町X-X		平成28年9月30日	32.50	960,000	80,000
貸家賃	住宅用	〇〇市△△町X-X		平成28年9月30日	32.50	960,000	80,000
計						8,440,000	720,000

○給料賃金の内訳

氏名	氏名(年齢)	雇月数	給料賃金	合計	所得額及び給与特別控除額の算入額
	(歳)				
	(歳)				
その他(人分)					
計					

○事業専従者の氏名等

氏名	氏名(年齢)	続柄	雇月数
	(歳)		
	(歳)		

【税務署整理欄】

※⑮欄が赤字の方で、「土地等を取得するために要した負債の利息の額」を必要経費に算入した場合には、次に掲げる区分に応じてそれぞれ次の金額を申告書の③欄に記入します。

この場合には、記入する金額の頭部に「⑮」と表示してください。

- 土地等を取得するために要した負債の利息の額が、不動産所得の赤字を超える場合・・・「0」
- 土地等を取得するために要した負債の利息の額が、不動産所得の赤字を超えない場合・・・その赤字のうち、その負債の利息の額に相当する金額を除いた赤字の金額